

市 収 蔵 版 画 作 品 展

会期：2025 年 1 月 17 日(金)～5 月 6 日(火・祝)

赤川版画工房から寄贈された版画は、すでに発表された日本画や洋画等をモチーフとして制作され、原作者から許可を得た上で印刷されたものです。

気軽に名画と出会うきっかけを与えてくれるだけでなく、版画特有の色彩や線のタッチなど、版画の魅力も十分に楽しむことができます。

今回は、小杉小二郎、塩出英雄、小山硬、西村公朝、最澄、空海の作品を原作とした石版画を展示しています。

= 展 示 作 品 =

(2階 展示室3)

作品名	原作者	技法
エッフェル塔	小杉 小二郎	書画 (石版画)
ノートルダム寺院	小杉 小二郎	書画 (石版画)
チェルリー公園	小杉 小二郎	書画 (石版画)
ポン・ヌフ	小杉 小二郎	書画 (石版画)
セーヌ河畔	小杉 小二郎	書画 (石版画)
鞆の浦	塩出 英雄	書画 (石版画)
桜	塩出 英雄	書画 (石版画)
夏	塩出 英雄	書画 (石版画)
秋	塩出 英雄	書画 (石版画)
細川ガラシャ婦人	小山 硬	書画 (石版画)

(2階 展示室4)

作品名	原作者	技法
大日如来	西村 公朝	書画 (石版画)
不動明王	西村 公朝	書画 (石版画)
虚空菩薩	西村 公朝	書画 (石版画)
千手観音菩薩	西村 公朝	書画 (石版画)
阿弥陀如来	西村 公朝	書画 (石版画)
勢至菩薩	西村 公朝	書画 (石版画)
普賢菩薩	西村 公朝	書画 (石版画)
文珠菩薩	西村 公朝	書画 (石版画)
久隔帖	最澄	書画 (石版画)
風信帖	空海	書画 (石版画)

※ 都合により展示作品を変更することがあります。

展示作品の合計 20 点

原作者 略歴

【小杉 小二郎】（洋画家）

1944 年 東京都生まれ
1962 年 日本大学芸術学部工業デザイン科入学
1970 年 渡仏。グラン・ド・ショミエール研究所に通う
1975 年 安井賞展入選
サロン・デ・アルティスト・フランセ銅賞受賞
1981 年 東京セントラル美術館油絵大賞展佳作賞受賞
サロン・デ・ナショナル・バザール展フラマン賞受賞
1984・86 年 日本青年画家展優秀賞受賞
1989 年 前田寛治大賞展佳作賞受賞
1991 年 小杉小二郎展を各所で開催
1992 年 「タカシマヤ文化基金」第2回新鋭作家奨励賞受賞
1994 年 中島千波・小杉小二郎二人展
2006 年 第29回損保ジャパン東郷青児美術館大賞受賞

【塩田 英雄】（日本画家）

1912 年 広島県生まれ
1936 年 帝国美術学校卒業
1937 年 第24回院展初入選
1950 年 日本美術院賞受賞
1951 年 武蔵野美術学校助教授
1963 年 同校教授
1969 年 内閣総理大臣賞受賞
1973 年 紺綬褒章受章
1980 年 武蔵野美術学校名誉教授、日本美術院理事
2001 年 逝去 享年 88 歳

【小山 硬】（日本画家）

1934 年 熊本県生まれ
1961 年 東京藝術大学日本画科卒業
前田青邨に師事し、弟子となる
第46回院展初入選
1968 年 愛知県立大学日本画科助手
('79 助教授、'81 教授)
1970 年 日本美術院第25回春の院展春季展、
第55回院展奨励賞
1971 年 第56回院展大観賞受賞('78)
1973 年 第2回山種美術館賞展優秀賞受賞
1981 年 再興第66回院展文部大臣賞受賞
1988 年 再興第73回院展内閣総理大臣賞受賞
東京、大阪、名古屋にて日本経済新聞社主催
「現代日本画の俊英—小山硬展」開催
2007 年 愛知県より教育文化功労賞授与

【西村 公朝】（僧侶・仏師）

1915 年 大阪府生まれ
1935 年 東京美術学校彫刻科木彫部入学
4年生の時、古美術研究旅行で法隆寺・夢殿の救世観音に感激。翌年卒業し、いったんは中学の図画教師になるが年末に退職。美術院国宝修理所に入所、仏像修理の道に入る
京都・三十三間堂で十一面千体像の修理に参加していた
42年、召集中国各地を転戦。45年復員、三十三間堂の修理に復帰以降、仏師・仏像修理技師としての修行を積む
51年で得度、天台宗の僧侶となる。
美術院国宝修理所所長、東京芸大教授など歴任する一方、55年から京都・愛宕念仏寺の住職となり、同寺の復興にあたる
2003 年 逝去 享年 89 歳

【最澄】（僧侶）

平安時代の僧で、日本の天台宗を開く。近江国（滋賀県）滋賀郡古市郷に生れ、俗名は三津首広野（みつのおびとひろの）。生年に関しては天平神護2年（766年）説もある。先祖は後漢の孝献帝に連なる登萬貴王（とまきおう）で、応神天皇の時代に日本に渡来したといわれている。書における師承は明らかでないが、延暦23年（805年）に入唐し、帰朝に当って王羲之の十七帖、王献之、欲陽詢、褚遂良などの筆跡や法帖類を持ち帰った。その書風は、空海の変幻自在なるに比べて、清澄で品格が高い。

【空海】（僧侶）

宝亀5年（774年）～承和2年3月21日（835年4月22日）
平安時代初期の僧。弘法大師の諡号で知られる真言宗の開祖である。俗名は佐伯眞魚能（さえきまお）。書家としても知られ、嵯峨天皇・橘逸勢と共に三筆のひとりに数えられる。書は在唐中、韓方明に学んだが、唐の地ですでに能書家として知られ、殊に王羲之や顔真卿の書風の影響を受け、また篆書、隸書、楷書、行書、草書、飛白のすべての体をよくした。中国では五筆和尚といわれ、日本では入木道の祖と仰がれ、書流は大師流と称された不出世の能書家である。

問い合わせ先

中野市くらしと文化部 文化スポーツ振興課 文化振興係
電話 0269-22-2111（内線 394）